

2020年東京オリンピック・パラリンピック対策  
特別委員会報告書

令和3年10月

2020年東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会



## 1 特別委員会設置の経緯

2020年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会のゴルフ競技が本市にある霞ヶ関カントリー倶楽部で開催が予定されており、それに関わる準備等を効果的かつ着実に推進するとともに、同大会の開催を契機とした本市の更なる活性化を図るため、川越市議会は平成27年第3回定例会（6月4日）より、2020年東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会を設置し、調査を行ってきた。

令和元年の議員改選後においても、引き続き2020年東京オリンピック・パラリンピック対策について調査するため、令和元年第3回定例会（6月4日）において、「オリンピック・パラリンピックの事前合宿及び直前練習等の支援に関すること」を新たに調査項目として加えて、2020年東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会が設置された。

## 2 付議事件

2020年東京オリンピック・パラリンピック対策について

- 1 ゴルフ競技の円滑な運営等に係る支援に関すること
- 2 オリンピック・パラリンピックの事前合宿及び直前練習等の支援に関すること
- 3 オリンピック・パラリンピック開催を契機とした地域の活性化に関すること
- 4 その他

## 3 委員定数及び委員名簿

定数：10人

委員長	小野澤	康弘	副委員長	吉野	郁恵
委員	伊藤	正子	委員	明ヶ戸	亮太
委員	吉敷	賢一郎	委員	柿田	有一
委員	田畑	たき子	委員	岸	啓祐
委員	山木	綾子	委員	大泉	一夫

※令和2年第4回定例会第1日（令和2年6月2日）に近藤芳宏委員から大泉一夫委員に交代した。

※令和3年第3回定例会第1日（令和3年6月1日）に桐野忠委員から田畑たき子委員に交代した。

#### 4 調査経過及び内容

No.	開催日	審査の概要
1	令和元年 6月21日	1. 委員長の互選について 2. 副委員長の互選について 3. 2020年東京オリンピック・パラリンピック対策について
2	令和元年 7月22日	1. 2020年東京オリンピック・パラリンピック対策について (1)報告事項 ①国、県などの動向について ②これまでの市の取組状況及び今後について ③市道0074号線及び市道8004号線の整備 (2)ホストタウン・事前キャンプの支援及び交流事業について (3)オリンピックに向けた教育委員会の取組について 2. 今後の会議の進め方について
	令和元年 8月15日	行政視察 (1)霞ヶ関カンツリー倶楽部 調査事項：テストイベント開催時の競技会場等の状況について
	令和元年 8月16日	行政視察 (1)川越運動公園 調査事項：タイ王国空手代表チームの公開練習について

No.	開催日	審査の概要
3	令和元年 9月25日	<p>1. 行政視察について</p> <p>2. 2020年東京オリンピック・パラリンピック対策について</p> <p>(1)報告事項</p> <p>①国、県などの動向について</p> <p>②これまでの市の取組状況及び今後について</p> <p>③市道0074号線及び市道8004号線の整備</p> <p>(2)市内各種団体との連携事業について</p> <p>3. 今後の会議の進め方について</p>
4	令和元年 10月7日	<p>1. 2020年東京オリンピック・パラリンピック対策について</p> <p>(1)オリンピックに向けた公益社団法人川越青年会議所の取り組みについて</p> <p>2. 今後の会議の進め方について</p>
	令和元年 10月8日	<p>行政視察</p> <p>(1)埼玉県新座市</p> <p>調査事項：オリンピックに向けての取り組みについて</p>
	令和元年 11月5日	<p>行政視察</p> <p>(1)在東京タイ王国大使館</p> <p>調査事項：オリンピックを契機とした川越市とタイ王国との交流について</p>
5	令和元年 12月18日	<p>1. 2020年東京オリンピック・パラリンピック対策について</p> <p>(1)報告事項</p> <p>①国、県などの動向について</p> <p>②これまでの市の取組状況及び今後について</p> <p>③市道0074号線及び市道8004号線の整備</p> <p>2. 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連施策に関する要望について</p> <p>3. 今後の会議の進め方について</p>

No.	開催日	審査の概要
	令和元年 12月18日	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 関連施策に関する要望について、市長に要望文（別紙 1）を提出し、市長・副市長・教育長と意見交換を実施。
	令和2年 1月28日 1月29日	行政視察  (1)鹿児島県鹿屋市 調査事項：ホストタウンの取り組みについて  (2)鹿屋体育大学 調査事項：事前キャンプ等受入施設について  (現地視察)
6	令和2年 3月23日	1. 行政視察について 2. 2020年東京オリンピック・パラリンピック 対策について (1)報告事項 ①国、県などの動向について ②これまでの市の取組状況について ③市道0074号線及び市道8004号線の整備 (2)東京2020オリンピック・パラリンピック競技 大会関連施策に関する要望を踏まえたオリンピック 関連予算について 3. 今後の会議の進め方について
7	令和2年 6月22日	1. 2020年東京オリンピック・パラリンピック 対策について  ・報告事項 (1)国、県などの動向について (2)これまでの市の取組状況及び今後について 2. 今後の会議の進め方について
	令和2年 8月6日	行政視察  (1)霞ヶ関カンツリー倶楽部 調査事項：オリンピック延期に伴う影響について

No.	開催日	審査の概要
8	令和2年 9月25日	<p>1. 2020年東京オリンピック・パラリンピック対策について</p> <p>(1)行政視察について</p> <p>(2)報告事項</p> <p>①国、県などの動向について</p> <p>②これまでの市の取組状況及び今後について</p> <p>③タイ王国との交流及びホストタウン等について</p> <p>2. 今後の会議の進め方について</p>
	令和2年 11月18日	<p>行政視察</p> <p>(1)茨城県龍ケ崎市</p> <p>調査事項：ホストタウンの取り組み及び大会後のレガシーについて</p>
9	令和2年 12月18日	<p>1. 2020年東京オリンピック・パラリンピック対策について</p> <p>(1)東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたシンポジウムについて（現地視察）</p> <p>(2)行政視察について</p> <p>(3)報告事項</p> <p>①国、県などの動向について</p> <p>②これまでの市の取組状況及び今後について</p> <p>2. 今後の会議の進め方について</p>
10	令和3年 3月18日	<p>1. 2020年東京オリンピック・パラリンピック対策について</p> <p>・報告事項</p> <p>(1)国、県などの動向について</p> <p>(2)これまでの市の取組状況及び今後について</p> <p>2. 今後の会議の進め方について</p>

No.	開催日	審査の概要
11	令和3年 6月21日	1. 2020年東京オリンピック・パラリンピック 対策について ・報告事項 (1)国、県などの動向について (2)これまでの市の取組状況及び今後について 2. 今後の会議の進め方について
	令和3年 6月21日	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 開催に関わる意見の提出について、市長に要望文（別 紙2）を提出し、市長・副市長・教育長と意見交換を 実施。
12	令和3年 9月24日	1. 2020年東京オリンピック・パラリンピック 対策について (1)大会開催期間中の取組及び今後について (2)これまでの取組等の総括について 2. 今後の会議の進め方について
13	令和3年 10月21日	1. 2020年東京オリンピック・パラリンピック 対策について (1)調査報告書について

## 5 調査結果

本委員会は、令和元年6月に設置され、これまで東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた国、県などの動向や市の取組に関して調査を行うとともに、関係団体等との意見交換などを行い、本委員会として意見を集約する中で、令和元年12月18日、市に対して東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて要望（別紙1）を行った。

市は要望を真摯に受け止め、要望事項を反映した令和2年度予算を編成し、大会開催に向けて着実な準備を進めていたが、令和2年3月30日、新型コロナウイルス感染症の影響により、大会の1年延期が発表された。

新型コロナウイルス感染症は複数回にわたる緊急事態宣言等を含め、社会全体に多大な影響を与えたが、そのような状況においても本委員会は、



感染防止対策に留意しながら、霞ヶ関カンツリー倶楽部等への視察を行い、大会関係者の開催に向けた意気込みを確認するとともに、市の大会開催に向けた準備状況や新型コロナウイルス感染症対策について調査を行い、令和3年6月21日、市に対して大会開催にあたり留意すべき事項について要望（別紙2）を行った。

新型コロナウイルス感染症の終息への見通しがたたないことによる、無観客開催への臨機応変な対応や、新型コロナウイルス感染症の対策と合わせた各取組の実施により、混乱や事故、会場周辺の交通渋滞等も無く、令和3年7月29日より8月7日まで、ゴルフ競技が開催された。

大会終了を受けて、今後の取組やこれまでの取組等の総括について調査を行い、委員間で意見交換を行った結果、これまで進めてきた各種事業をレガシーとして市民に定着させるための施策について、下記の通り提言する。

#### 記

1. 東京2020オリンピックのゴルフ競技が開催されたことや、競技会場となった霞ヶ関カンツリー倶楽部の歴史等を引き続き市民に周知・啓発すること。
2. オリンピックのゴルフ競技会場市として、霞ヶ関カンツリー倶楽部で開催されている川越市民ゴルフ大会等をレガシーとしてさらに充実発展させるとともに、ゴルフを知り体験できるような子どもたちへの取組みを進めること。
3. 事前キャンプの受け入れやホストタウン交流で培ったタイ王国との関係を、将来的に広く市民レベルでの交流を目指して、さらなる前進ができるよう、交流活動の支援を行うこと。
4. 事前研修等によりボランティアスキルを備えた熱意ある都市ボランティアが、今後も力を発揮できる事業や活動を整理・周知することで、活躍の機会を与えること。
5. オリンピック精神を学ぶため、オリンピック教室未実施校における実施をはじめ、引き続き機会をとらえてオリンピック教育を継続させること。
6. 大会に向けて取り組んだ海外からの観客、観光客への多言語対応に

ついて、引き続き関係団体等と連携して取り組むこと。また、これまでに取り組んだオリンピック関連事業についての検証を行い、今後の市政運営に生かせるよう努めること。

以上、市においては、本提言に留意し、引き続きオリンピック・パラリンピック開催を契機とした地域の活性化に積極的に取り組まれるよう強く要望する。



令和元年12月18日

川越市長

川 合 善 明 様

2020年東京オリンピック・

パラリンピック対策特別委員長

小野澤 康 弘



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連施策に  
関する要望について

本委員会は、令和元年6月に設置され、これまで東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた国、県などの動向、機運醸成事業、おもてなし事業、ホストタウン交流事業、事前キャンプの支援や会場周辺の基盤整備などについて、理事者より報告を受け、調査を進めてまいりました。

また、オリンピックに向けてどのような支援が必要か調査するため、公益社団法人川越青年会議所、川越市のホストタウン相手国となるタイ王国の空手代表チームや在東京タイ王国大使館など関係団体との意見交換を実施しました。

さらに、競技会場である霞ヶ関カンツリー倶楽部のテストイベント開催時の状況や先進自治体である新座市の視察を実施いたしました。

以上のとおり多岐にわたる調査を行い、本委員会として意見を集約した結果、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、下記の事項について要望いたします。

記

## 1. 大会全般について

- 東京2020組織委員会と連携し、競技会場周辺等の住民へ丁寧な説明を行うとともに、大会期間中の日常生活への影響を最小限に抑え

るよう図ること。

- 大会スポンサー等の権利を侵さない範囲で、川越の観光や物産の情報提供等を図ること。

## 2. 機運醸成事業について

- 市内の学校において、競技会場をはじめ、オリンピックに関することについて学ぶ機会をつくること。
- 市道0074号線や市道8004号線等の競技会場までの輸送道路にオリンピックをイメージするような愛称をつけ、機運の醸成を図ること。

## 3. おもてなし事業について

- 市民等の参加も得ながら、大会期間中に市を訪れる観光客をおもてなしすること。
- おもてなしの活動にあたっては、暑さ対策など活動環境を整え、活動意欲を高め、オリンピックに関わっていることが実感できる取り組みを図ること。

## 4. 市内装飾について

- 川越駅東口デッキ上（エレベーター裏）について、フォトスポットとしてSNS等で発信してもらえるよう、更なる装飾に努めること。
- 駅周辺などについて、目立つデザインのフラッグで装飾を行うこと。
- 笠幡駅やシャトルバス乗降場から競技会場までの歩行者ルートにおいて、フラッグや距離の表示などにより機運の醸成を図ること。
- 花と緑による装飾について、自治会等との連携など、市民の協力を得ながら取り組むこと。
- 市役所について、玄関やエレベーターホールなど人の集まる場所に装飾を行うこと。

## 5. 会場への輸送について

- 市道8004号線整備について、大会までに着実に工事を終えること。
- 東京2020組織委員会と協力し、市道0074号線の交通安全対策

を図るとともに、笠幡駅やシャトルバス乗降場から競技会場までの徒歩ルートを安全かつ円滑に移動できるよう図ること。また暑さ対策についても配慮すること。

#### 6. ホストタウン交流事業について

- タイ王国との交流をオリンピック後も続けられるよう図ること。
- 他市の事例等を参考に、他市と連携をとりながら、より良いホストタウンとなるように努めること。
- タイ王国空手代表チームの直前キャンプ受入れの際には、競技本番を意識し、快適に練習ができるよう環境整備に努めること。
- 国際理解のため、タイ王国の文化をはじめ、子どもたちが様々な国の文化を学ぶ取り組みを図ること。

#### 7. 東京2020組織委員会等への要望について

- 競技会場内の安全対策など大会運営上懸念される事項について、しっかりとお金をかけて整備、対処するよう市として要望していくこと。
- 大会運営について、東京2020組織委員会等との連携を密にし、市として必要な情報を求めていくこと。





令和3年6月21日

川越市長

川合善明様

2020年東京オリンピック・  
パラリンピック対策特別委員長

小野澤 康 弘

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に関わ  
る意見の提出について

本委員会は、令和2年3月に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の延期が決定されてから、霞ヶ関カンツリー倶楽部や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたシンポジウムへの視察を行い、大会関係者の開催に向けた意気込みを確認するとともに、市の大会開催に向けた準備状況や大会開催時の新型コロナウイルス感染症対策について調査してまいりました。

本委員会として、大会開催にあたり留意すべき事項について調査結果がまとまりましたので、下記のとおり要望いたします。

## 記

- 1 大会の開催により、市内の新型コロナウイルスの感染状況に影響を及ぼすことのないよう、事業実施にあたっては細心の注意を払うこと。
- 2 観客が安心して大会を観戦できるよう、川越駅からシャトルバス乗降場まで、また笠幡駅やシャトルバス乗降場から競技会場までの徒歩ルートにおいて、安全かつ円滑に移動できるよう図ること。特にプレー開始前や終了直後など、観客が集中し混雑する時間帯においては、密にならないよう観客の誘導に努めること。
- 3 大会当日のボランティア活動に支障が出ないように、大会の運営にあたり必要な情報を、速やかに都市ボランティアへ周知すること。また活動

中にトラブルが発生した場合の対応について、事前に明確化しておくこと。

- 4 通行規制や迷惑駐車による競技会場周辺住民の日常生活への影響を最小限に抑えるよう図ること。
- 5 東京2020組織委員会等との連携を密にし、新型コロナウイルス感染症対策等も含め、大会運営上懸念される事項については、市として必要な情報を求めていくとともに、組織委員会へ対応を求めていくこと。